

INUHARIKO NEWS

未来は、あそびの中に。

vol.20

園児との触れ合い時間確保のために
清掃から変える。

interview

本来の保育にかける時間を増やし、
キレイな園を保つ

愛媛県伊予郡松前町
幼保連携型認定こども園 青葉幼稚園
園長 後藤 正幸 先生

ご存知
ですか?

制度化された
HACCP
(ハサップ)

HACCP（ハサップ）とは、国連の合同機関が推奨する食品規格で、安全で衛生的な食品を製造するための管理方法のひとつで、**問題のある製品の出荷を未然に防ぐことができるシステム**です。

HACCPに沿った**衛生管理の制度化**は大きく二つに分けられます。

1

HACCPに基づく衛生管理

HACCPの7原則※1に基づき個々の施設で使用する原材料や製造方法等に応じた**計画を作成し、記録**を行う。

一定の従業員や組織を持つ大規模事業者、と畜場食鳥処理場など

2

HACCPの考え方を取り入れた衛生管理

各業界団体が作成した「業種別手引書」を参考に、一般的衛生管理を基本として**計画を作成し、簡単な記録**を行う。

小規模事業者（50名未満）、提供する種類が多く変更が頻繁な飲食店などの業種

※1 7原則＝危害要因分析の実施（ハザード/HA）・重要管理点（CCP）の決定・管理基準（CL）の設定・モニタリング方法の設定・改善措置の設定・検証方法の設定・記録と保存方法の設定

まずは**一般的衛生管理プログラム（PRP）**から始めましょう！

PRP（Prerequisite Programs＝一般的衛生管理プログラム）とは、HACCPを機能させるための前提条件とされ、基本的な衛生管理の実施項目が定められています。

厨房機器 点検パッケージ

3つの安心サポート

定期点検の実施 （年2回）

機器の動作確認や
日々の清掃の説明
※1

消耗品交換が 無償

消耗品交換忘れ
を防止
※2

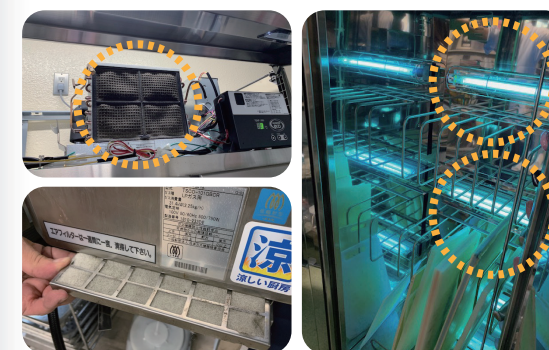
水質調査の 実施サービス （初回のみ1回）

カルキによる
故障未然防止へ

※1・2 機器の指定がございます。

tanico × JAKUETS

「施設設備の衛生担保」に向けて、
厨房機器の故障を未然に回避！



詳しいパッケージ内容・御見積については、弊社担当者にご相談ください

JAKUETS



**保育と直接関連のない
清掃業務負担から見直し
一部を外部委託により効率化**

施設が大きくなった分、維持管理するための清掃範囲も広がりました。さらにそこへ新型コロナウイルスの感染症対策が必要となり、職員がそれらに手を取られる時間も増大しました。

園としてまず取り組んだのが、この清掃業務の軽減でした。教育・保育関連以外の業務を担う人員を増やしたり、日々の清掃業務の一部を外部業者に委託しました。

これにより、職員は教育・保育に関わる業務に専念しやすくなり、施設全体がきれいに維持できるようになりました。

大きな負担となった 新型コロナウイルスの感染症対策

より良い教育・保育環境を目指し、新しい園舎・園庭でたくさんの園児や保護者に親しんでもらいたいと願っていた矢先、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が出され、園においても様々な対応が求められました。

新型コロナウイルス感染症対策が職員業務の大きな負担となったことで、園として業務負担の軽減に最優先で取り組むことにしました。

本園は戦後、園舎の隣に鎮座する高忍日賣（たかおしひめ）神社の境内で開園しました。

長らく幼児教育一筋に歩んで参りましたが、社会的な子育てニーズに対応するため、令和2年4月に幼保連携型認定こども園へと移行し、これに合わせて園舎・園庭の再整備を実施しました。

**75年前に神社の境内で開園
認定こども園への移行に合わせて、
園舎・園庭を再整備**



本来の保育にかける時間を増やし、
きれいな園を保つ

インタビュー

Interview

近年、幼保施設における職員の業務負担軽減が叫ばれており、厚生労働省も働き方のガイドラインを示すなど、大きな問題となりつつあります。そんな中、施設の清掃やメンテナンス業務は保育現場において、どう影響してくるのでしょうか。

3年前に幼保連携型の認定こども園へ移行し、園舎・園庭を再整備した愛媛県伊予郡松前町 青葉幼稚園の取り組みを取材させていただきました。



interview

愛媛県伊予郡松前町徳丸332-2
幼保連携型認定こども園
青葉幼稚園
園長 後藤 正幸 先生



日々の業務と定期的なプロの メンテナンスを使い分け

基本的には、日々の清掃は職員や外部の業者が行い、加えてトイレ、エアコン、砂場、厨房など、衛生面で気をつけなければいけない箇所では定期的なメンテナンスをジャクエツさんに委託しています。

時間のかかる清掃・メンテナンスを休園日に実施していただけるなど、園の運営の都合に合わせて実施いただけるのも大変助かっています。

ジャクエツさんには新園舎の設計を依頼した経緯もあり図面・設備など隅々まで把握してくれているので、依頼する側の労力があまりからないのも大きいですね。

不意の支出リスクが軽減 予算計画も立てやすくなる

一時期よりは新型コロナウイルスの影響による業務負担は減りましたが、これらの取り組みは一過性のものではなく、今後も継続的に必要であると考えています。実際、ジャクエツさんとは、複数年度の計画を立て、施設の長期的な維持管理をサポートしていただいています。

メンテナンス不足による不意の修繕で発生する支出のリスクを軽減でき、園の予算計画を立てやすくなることもメリットだと感じています。

業務負担軽減と衛生維持を 効率的に解決できた成功ケース

まだまだ職員の業務負担に関して課題はありますが、業務負担軽減と衛生維持の両面を効率的に解決できた一つの良い例だと捉えています。

新型コロナウイルスの規制も徐々に緩和しつつあり、多くの園児や保護者、そして職員も、新しくきれいな園舎を日々喜び、親しんでくれていると感じています。

この新しい園舎も、一定期間を過ぎれば大規模な修繕が必要になる時が来ると思いますが、しかし日頃から園舎をきれいに保つことでその時の費用を大きく軽減し、より長くきれいな園を保つことにつながると思います。

これからも、日々の維持管理と定期的なプロによるメンテナンスの双方の視点を大切にしていきます。

担当者の方が施設のことはもちろん、様々な園の環境を把握してくれているから安心して任せられます。



清掃メンテナンス実例紹介

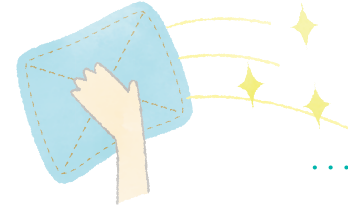
保育施設ではどのような理由でどんなメンテナンスを利用しているのでしょうか？
ジャクエツの清掃メンテナンスをご利用いただいている園の実例をご紹介します。

CASE 02

東京都墨田区
墨田みどり保育園 様

クレーンを使わない窓清掃で コストを大幅に削減

窓ガラスが多い園舎で近隣の目につきやすく、
汚れが気になっていたが業者委託は高所清掃
もあるため費用が高額に。ジャクエツのクレーン
を使わずにできる提案によりコストを大幅に削減でき、
キレイな窓を維持することができるようになった。



CASE 03

東京都東大和市
蓮花苑 様

想像以上に汚れの多い砂場。 業務委託で安心の洗浄品質と職員の 業務負担軽減

運営している7園全てにおいて砂場メンテナンスを
年1回のペースで実施。砂場は想像以上に汚れや異物混入が
多く、職員の清掃では衛生面に限界がある上に業務負担も
大きい。ジャクエツに砂場メンテナンスを依頼することで、
まるで新設時のような砂場に。



CASE 04

神奈川県小田原市
こゆるぎ幼稚園 様

職員の業務負担軽減し、保育業務の 時間を増やすことができた

保育室の床面清掃やトイレ清掃、エアコン清掃
といった職員の業務負担となっていた園舎内をメインに
ジャクエツの清掃を利用。職員の負担軽減だけでなく、
保育業務の時間を増やすこともでき、園児にとっても
良い影響も。



CASE 01

京都府京都市伏見区
社会福祉法人 下鳥羽保育園
幼保連携型認定こども園
下鳥羽こども園 様



プロにしかできないメンテナンスで 衛生面の課題を解決

衛生面には特に注意を払っているという下鳥羽こども園では、
給食調理や洗面、トイレといった水回りを中心にジャクエツの
清掃を利用。1階トイレの排気口は園庭の砂が舞い上がって
付着してしまい定期的な清掃が不可欠だが素人には清掃が
難しく、プロの洗浄で解決している。



エアコンのフィルター掃除は2週間に1度

エアコンのお掃除で 電気代の節約と 空間衛生を

エアコンのフィルターが目詰まりをしていると、エアコンの運転効率が下がり、無駄な電気代がかかってしまいます。環境省によると、2週間に一度フィルターの掃除をすることで、冷房時で約4%、暖房時で約6%の消費電力の削減になるとされています。

エアコンのフィルター掃除をしないと、どうなる？



健康への悪影響

エアコンは、カビが好きな場所です。内部にカビが生えたまま使用を続けると、咳やアレルギー症状など健康被害の可能性があります。



電気代がかさむ

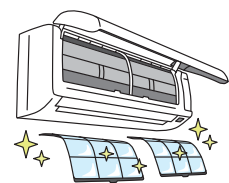
ホコリがフィルターに詰まることで、運転効率が下がって電気代の負担が大きくなります。節約の工夫は今後増々重要になっていくことが予想されます。



故障の原因に

ホコリが溜まったままエアコンを使い続けると、空気を吸い込むモーターに負担がかかり、故障の原因になります。

2週間に1度はフィルター掃除をしましょう



2週間に1回はフィルターの掃除をしましょう。



室外機の吹出口にもものを置くと冷暖房効果が下がります。

フィルターを月に1回か2回清掃	
年間で電気 31.95kWh の省エネ	約 860円 節約
原油換算 8.05ℓ	CO ₂ 削減量 18.8kg
フィルターが目詰まりしているエアコン（2.2kW）とフィルターを清掃した場合の比較	

※出典：経済産業省資源エネルギー庁省エネ性能カタログ2017年夏版

エアコン内部の掃除はプロに任せましょう

素人の掃除ではカビの原因を作ってしまうことも… 手間も仕上がりもプロに依頼するのがベスト

エアコン内部はカビやホコリなど、汚れがたまりやすくなっています。エアコン清掃は、パネルをはずし、ファンやモーターまできっちり分解。内部の汚れやカビを専用洗剤による高圧洗浄で除去。もちろん取り外した部品も一つ一つ丁寧に洗浄。一度まるごとクリーニングすると、カビなどの悪臭がなくなるのも魅力です。汚れているエアコンから排出された空気は、アレルギーの一因になるといわれているので、エアコン分解洗浄は敏感な園児にも安心な効果が期待できます。



作業動画はこちら



分解して特殊な洗剤を塗布後に高圧洗浄し、部品も別途洗浄

保育士
100人に
聞きました

1日平均40分！ 保育士の約7割が感じている

掃除が負担になっている

Q1 園内の掃除にける時間は1日あたりどれくらいですか？

平均 約**40分**/日

1週間あたり(平日5日間)に換算すると…

平均 約**3時間20分**/週

Q2 普段の業務において、清掃が負担になっていると感じたことはありますか？

いいえ
34%

はい
66%

時間だけでなく、精神・身体的な負担も…

具体的には、全体の65%が「時間的な負担」を、55%が「精神・身体的な負担」を感じているようで、保育士たちからも次のような声があがっています。

「掃除は子どもの安全のために必須の業務なので、責任を感じる」
(32歳・男性)

「保護者から見られる場所でもあるため丁寧に掃除をしているので、どうしても時間がかかる」(25歳・女性)

「部屋が大きいので掃除をする箇所も広い。また、1クラスにつき1人のみで掃除をするので時間がかかる」
(27歳・女性)

「砂やホコリがたまりやすいので、隅々まで掃除をするのが大変。ゴザや椅子を動かすのもひと苦労」
(26歳・女性)



※「保育園における掃除」に関する意識調査 | パナソニック株式会社により、20～60代の保育士100名を対象として実施(2020年)
※出典：小学館ダイム公式サイト「@DIME アットダイム」



出典：厚生労働省
「保育分野の業務負担軽減・業務再構築のためのガイドライン」(令和3年3月)

「保育分野の業務負担軽減・業務再構築のためのガイドライン」でも、 清掃分野における保育士の負担軽減について掲載されています。

保育所等における保育士の負担を軽減し、保育士の離職防止を図ることを目的として、清掃業務の外部委託や保育補助者の活用に当たり、事前に業務分担を明確にするだけでなく、作業をしていく中でコミュニケーションを取りながら、必要に応じて、その業務分担の見直しを検討するとよいでしょう。

また、保育士との業務分担ばかりに目を向け、コミュニケーションが不足すると、お互いのマイナス面に目が向きやすくなり、業務負担軽減の効果も減退してしまうでしょう。業務負担の軽減、子どもの理解においても、積極的にコミュニケーションを取ることが大切です。

※保育関係は令和5年4月1日に厚生労働省からこども家庭庁に移管しています。